

スローガン

いつまでも
住み続けたい街
五福学区

五福地区
社協だより



五福地区社協だより 第15号

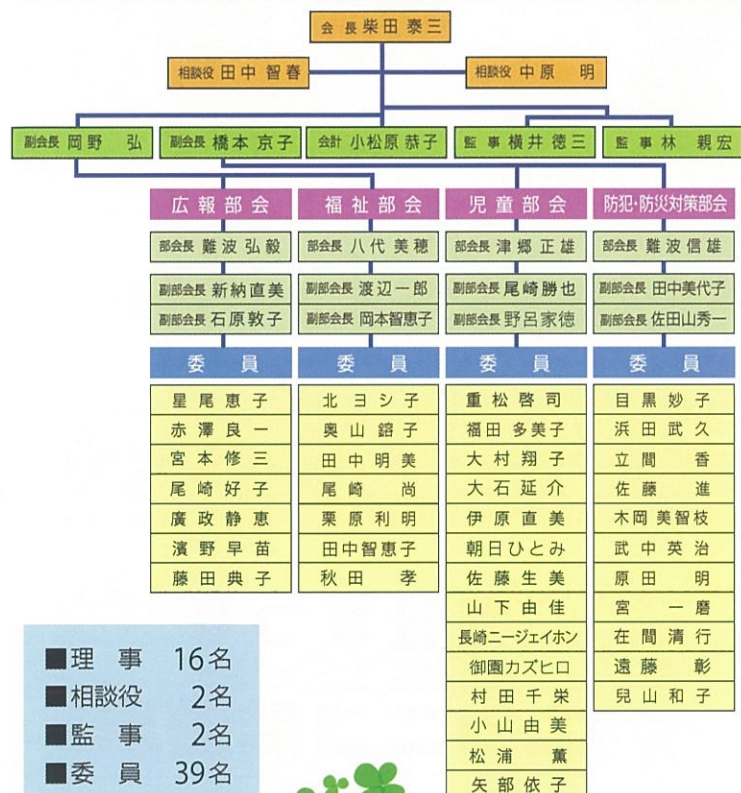
発行所

倉敷市五福地区社会福祉協議会

発行責任者(会長) 柴田 泰三
編集 / 広報 部 会

令和2年度 五福地区社会福祉協議会 総会

令和2年度 五福地区社会福祉協議会組織図



ごあいさつ

新副会長 橋本京子



令和2年度から五福地区社協の副会長になりました。コロナ禍で地区社協の行事もほとんど中止になっている現在ですが、会長や先輩方にご指導していただきながら地域に貢献できればと思っています。よろしくお願いします。

新型コロナウイルス予防

新型コロナウイルスについて
の広島県の資料がわかりやすい
のでまとめてみようと思います。
新型コロナウイルスの症状は風
邪と似ていますが、高齢者や高
血圧の持病がある方は重症化し
やすいといわれています。イン
フルエンザと異なりワクチンや
特効薬がないこともあってご存
知のごとく死亡率が高くなりま
す。何よりうつらない、うつ
さないことが重要です。
マスクの着用、手洗いうがいを
することはもちろん、換気の悪
い密閉空間、人の密集、近距離
での会話という三密を避ける
ことが必要とされています。
現状では、うつらない、うつ
さないためには、集まりや用事
や遊びに行くことは控えること
になるかと思えます。また、
予防には運動と栄養と睡眠を
とって体力維持に注意しましよ
う。外出を自粛しても近所での
ウォーキングや、室内や庭での
体操やスクワットは可能です。
最後になりますが、発熱や感染
が心配な方は病院受診の前に新
型コロナウイルス受診相談セン
ターに(086)4349819
に電話で相談することがうっさ
ないために肝要とお考え下さい。
佐藤医院 院長 佐藤伸夫

今年度は新型コロナウイルス感染症・大流行のため、総会が中止となりました。

◎議案の評決

第1号議案
「令和元年度事業報告、会計報告」

第2号議案
「令和2年度役員改選」

第3号議案
「令和2年度事業計画、収支予算」

総会構成定員59名中51名の提出がありその結果全ての議案について過半数の賛成をもって可決されました。

住み続けたい感謝のまち「五福学区」

会長 柴田泰三



皆様の日々温かいご支援を賜り、一期何事もなく、勤めることができましたことを、心より厚くお礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスによる、活動の自粛などのため、総会も「書面評決」での対応となり、経験のない事態が起きております。生活様式も改善すべく活動も同様、安心して暮らせる地域のために、気を引き締め邁進してまいります。



わたしは、れいわ元年六月二十三日に五福く小学校のグラウンドであつたグラウンドゴルフ大会にお母さんと弟といっしょにいきました。しらないおじさん、おばさんがおおいし、どんなことをするかわからなかつたのでドキドキしていました。ボールをうつ時、「こつやるといいよ。」と教えてもらつたらボールをうつのが楽しくなつてきました。お母さんがうつと一回で入つてびっくりしました。わたしもやつてやるぞと思つてがんばりました。一回うつて入りました。一回で入れたかつたけど「一回で入れるのもすごいよ。」とほめてもらつてうれしかつたです。すぐく楽しかつたので次は、お父さんやお兄ちゃんもいっしょにやりたいです。

五福小学校二年一組 なんばこはる



令和元年 6/23 第十六回 三世代交流
グラウンドゴルフ大会

いつでも

どこでも

だれでも

できるスポーツ

爽やかな汗とともに
に交流を深めた
グラウンドゴルフ大会
「優勝を狙います。」
と開会挨拶で宣言しましたが、
今までに二回しかプレーした
ことがないのですからもちろ
んそんなことが出来るはずも
ありません。毎ホール悪戦苦
闘の連続で、一番走り回って
汗をいっぱいかきました。で
もその汗はとても爽やかなも
のでした。

なぜなら、同じチームの皆さんをはじめ、たくさんの方とお話しする中で、皆さんが五福小学校を大切に思つてくだ
ることがすぐよく分かつた
からです。小学校は地域
あつてのものです。これから
も、今まで同様、地域の皆さ
んと手を取り合つて、子ども
たちの未来のために頑張つて
いきたいと改めて思つた、そ
んな一日でした。
五福小学校校長 狩野 隆

グラウンドゴルフの豆知識

昭和57年文部省の生涯スポーツ推進事業の一環で鳥取県泊村で考案されました。学校のグラウンドや公園、広場でもどこでも出来るスポーツとして日本国中に広がり今では愛好家数は150万人以上とされています。自分の責任でプレーし、自分で審判しますが、チームで行動します。ルールを正しく理解し、マナーとエチケットを守り、健康維持のためにトレーニングに励んだり試合に出たり心も身体も若々しく楽しみましょう。早く五福小学校の運動場での大会で元気にお会いしましょう。

福祉部会 八代 美穂

令和元年度 五福地区社協の活動に協賛して下さる企業の各社

※紙面上右記に社名が記載されてない地元企業様、社協への協賛をいただきまして誠に有難うございました。お陰様でとても充実した紙面になりました。

集記 編集後

良酒倉庫
みのりや株式会社

医療法人 養命会 佐藤 医院

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院

マックスバリュ
西日本株式会社

ホテル 南海

水島 信用 金庫

JXTGエネルギー株式会社
水島製油所

JFEスチール株式会社
西日本製鉄所

水島ガス株式会社

ご協力いただき
ありがとうございます。

ケア会議が発足しました。

防犯・防災対策部会 難波 信雄

私たち、五福地区社協は結成の時に、地域の高齢者福祉向上を目的の一つに掲げています。この度、倉敷高齢者支援センターを事務局として、学区内の全ての高齢者福祉を目指す各種の団体（地区社協、民生・児童委員・老人会・町内会・愛育委員会・栄養改善協議会・行政機関など）を網羅する組織が発足しました。「これからどのような地域にしたいのか」「そのために何をしなければいいのか」を住民自らが中心となつて話し合つて「困りごと」の解決策を地域の住民の話し合いの中から、見つけることができればと思つています。もちろん行政の協力も重要になります。住民の方々が持つている問題の多くは、『一人では解決できない』『どこも（誰も）解決してくれない』『特効薬みたいなものはない』『可能性が大きいのですが、小地域ケア会議に人が集まり、声を上げることで、情報を得ることができたり、問題の解決や改善につながるかも知れない。住民同士や組織同士が協議しあつていく場が「小地域ケア会議」だと思つています。



五福地区 小地域ケア会議

(2)

五福小学校区小地域

「明日の水夏祭は体育館でしようと思ひます。」一本の電話に、水夏祭実行委員会の開催に向けての決意と苦慮が感じられました。昨年（2018年）の西日本豪雨による真備町の未曾有の災害によって水夏祭も中止となり、その後体育館は避難場所の一つとなりました。そして今年地域の大イベントは初めて雨天決行です。数日前より会議を重ねた結論は、主会場を体育館とすることでした。ガス使用の出店者は外のテント下での営業となり、人の動線には気を配りました。



田中 智 春
思い起こせば。息活きバンドは、今年九月で二十年、間も無く出演回数も400回になります。この度、地区社協様より一言お願いと言われ、思い返してみました。ある日、常盤町の民生委員さんより、町内の高齢者の集いを考えているが？と相談があり、あなたはギター弾けるから当日来て、一時間ほど懐メロ、童謡、愛唱歌など引き語り、賑やかしてと言われ、私も好きなことと、お断りも出来ずついOKし、参加したのがきっかけ、社会福祉協議会の方にも喜んでいただき、ついつい誘われるまま今日まで続けています。現在、町内会・高齢者の集い等などへ全員参加で大集合をと三人で出かけています。最近では新型コロナウイルスにより3密を避ける事で何もしません。今後コロナウイルスが収まりましたら出かけたと思つています。身体が元気な間どこかでお会いした時は楽しいひと時を過ごしたいと思ひます。



雨の水夏祭



児童部 津郷 正雄
「明日の水夏祭は体育館でしようと思ひます。」一本の電話に、水夏祭実行委員会の開催に向けての決意と苦慮が感じられました。昨年（2018年）の西日本豪雨による真備町の未曾有の災害によって水夏祭も中止となり、その後体育館は避難場所の一つとなりました。そして今年地域の大イベントは初めて雨天決行です。数日前より会議を重ねた結論は、主会場を体育館とすることでした。ガス使用の出店者は外のテント下での営業となり、人の動線には気を配りました。

祭り当日、実行委員会は、教職員も動員し、今まで経験したことのない準備に追われました。何とか開会に間にあわせましたが、大勢の地域の方が、雨の中訪れていただけるか心配でした。でも十八年間の積み上げてきた水夏祭の実績がこの不安を払拭してくれました。祭り会場に足を運んでいただいた全ての方々と、雨天決行に尽力いただいた人に感謝します。



五福小まつり

五福小学校・PTA・地区社協共催で恒例の「五福小まつり」が実施されました。地区社協は例年通りの4コーナーの担当です。『カーリング』『パターゴルフ』のコーナーでは「やったー！」「ホールインワンじゃー」「あーあ、うまくいかんなく」「むずかしい」など悲喜こもごもの声が飛び交っていました。



七夕飾り実行委員会 会長 横井 徳三
令和元年度の水島港まつりで第五福田小学校の児童たち全員に祈りを込めた笹飾りの短冊に私たちは勇気と元気をもらいました。七夕飾りは今回から第五福田地区社会福祉協議会のメイン行事になりました。五福学区の常盤、亀島、千鳥、そして中畝の4地区の方々に参加してもらい、10本の豪華な飾りが完成しました。また、水島中学校の生徒男女10名の応援参加も加わり、楽しい賑やかな飾り付けが進行し、気が付けば例年



より早い時間に終了となりました。夜、家族と見学に来た児童が自分の書いた短冊を見つけて「あつた」と指さし、親子の会話が弾んでいる光景に「良かった」と心底思いました。お土産を渡しながら「来年もよろしく」の声かけに「頑張つて楽しく書くよ」と嬉しい言葉が聞かれました。来年はもつと立派な七夕飾りや、家族でゆつくり楽しめる場もつくりたいと思つています。



また、『紙飛行機作り』『ストローとんぼ作り』のコーナーでは、作り方を教わりながら取り組んでいる真剣な眼差しが、作りあげた途端キラキラ輝く眼差しに変わり満足感が現れていました。元気いっぱい、好奇心いっぱいの子どもたちとの触れ合いは楽しい思い出になりました。